

楽しく知りましょう、わがふるさとを

☆☆☆おしゃべりサロン「相互塾」(第20回)☆☆☆

老いも若きも大歓迎、Face to Face を大切に！

<入場無料>

“調布”の由来を探る(その2)

日時:平成13年9月17日(月) 午後7時~9時

場所:調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室 (グリーンホール南隣り)

語り手:小林 守さん

昨年11月の相互塾にて、“調布”が本市名になるまでの経緯を、資料をもとにたどって、これまで伝えられて来た布作りにまつわる事柄の真偽を明らかにしました。今回は更に詳しく、「武蔵野地名考」が、「武蔵國風土記(偽作)」などを引用し、この地を「てつくりの里」とした。これらがもとになって、古代の布作り物語が生まれた。その背景と経過を明らかにします。次に示す資料の“調布”に関連する部分をスクリーンに映して、理解が深まるようにします。

◆古代布のてつくり(手作ノ布)とツキノヌ(調布)とは別の物であることが分かるもの:

東大寺要録・東南院文書、西宮記、公卿の日記等、古代辞書

◆「てつくり、調布、たつくり」を混同し、或いは誤った訓みや解釈を加えたり、又は、それらの誤りを孫引きしているもの(この様な誤りは江戸期に入ってから起り、後世に大きく影響を及ぼした):
名所歌集版本、延喜式版本、古今和歌六帖版本、紫の一本、萬葉拾穂抄・八代集抄、萬葉代匠記、東遊行囊抄、萬葉集類林、畫本通寶志、武蔵志料、萬葉(集)考、新編江戸志、武蔵演路、四神地名録、調布日記、武蔵名所考、江戸名所圖繪、武蔵野話、松寿軒筆子中碑文、調布玉川繪圖・江戸後期地圖、古今和歌六帖標注、萬葉集古義、和訓栞、その他関連資料

【終了後、懇親会(実費)を開きます】



今回は、“調布”にまつわる典籍を、目に見える形で確認するため、大きなスクリーンに映して、古くからの時代の雰囲気を感じながら、ふるさとの“調布”を、皆さんと一緒に知り、改めて調布を考えてみませんか。わが町ふるさと、調布を、この街なかを歩きながら、新たな気持ちで眺められるようになると思います。期待しましょう。

主催: 特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先: 森下 政信

(TEL&FAX 83-9993 E-mail mmasanob@sepia.ocn.ne.jp)

(ウラへ続く)